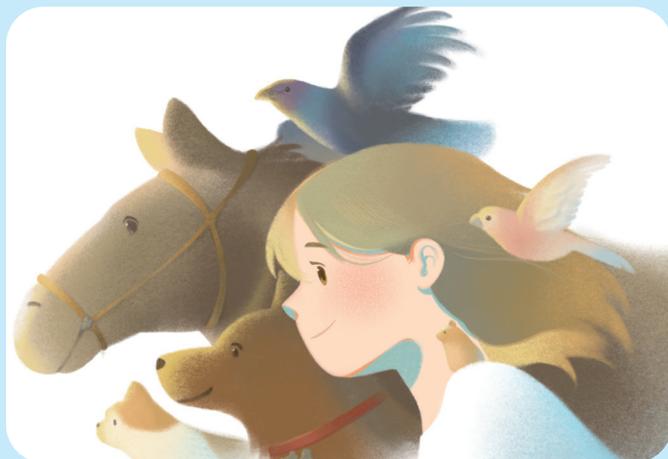


令和7年度版

動物通信

動物と生きるということ



- 1 動物と暮らす楽しさ 1
- 2 犬や猫、そして人にもキケン！
見えない敵「寄生虫・食中毒・熱中症」 3
うさぎ・ハムスター・インコにとってのキケン・・・ 6
- 3 飼い主の責任 8
- 4 小笠原ネコプロジェクト
～人とペットと野生動物が共に暮らせる島をめざして～ 11
- おわりに 14

令和8年2月
杉並区

1 動物と暮らす楽しさ

地球には生物が約 175 万種、未発見のものも含めると 3000 万種程度存在すると推定されています。生物は、他の種類の生き物と「捕食者※・被捕食者」の関係や、「共生」「依存」など、さまざまな形で関わりながら、生き残るための工夫をしています。

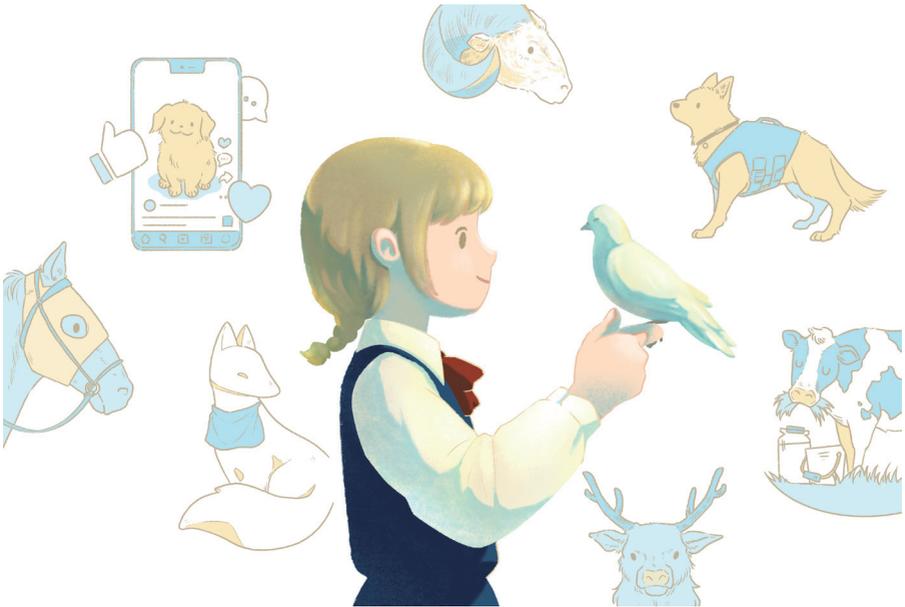
ヒトの動物との関わり方には、肉や毛皮などを得るための狩猟、畜産や酪農、競馬などの娯楽、伝書鳩や早馬などの通信や移動手段、そして神や悪魔の化身として信仰・恐れの対象になるなど、さまざまな形式があります。動物を愛玩動物（ペット）として友人や家族のように一緒に生活し、お世話をするという関わり方は、人類だけがもつ特別なものかもしれません。共に生活をする中で、ヒトが愛情を与えたり逆に受け取ったり、悲しい時にはそっと寄り添ってくれたり、話すことはできないけれども感情を共有してくれるとても良いパートナーになってくれます。また、直接的に飼育する以外にも動物園や水族館などで動物と間接的に関わったり、最近では SNS や動画サイトで「推し」の動物を鑑賞し、投げ銭や寄付などで応援する「推し活」という新しい関わり方も生まれています。いずれの形にしても愛情をもって動物と関わることで、動物から「癒し」や「愛情」、「活力」などを得ることができ、日々の生活にたくさんの彩りが生まれます。動物を飼うことで幸福感が増し、寿命が長くなったというようなポジティブな報告もたくさんあります。

※捕食者・・・ほかの生き物を食べて生きる動物のこと。

●日本で愛された動物たち

動物との関わりの中で日本人の心をわしづかみにした事例がいくつ

かあります。日本で最も有名な銅像の一つに、「忠犬ハチ公」という
秋田犬の銅像が東京の渋谷駅しぶやえきにあります。ハチは1923年11月に秋
田で生まれ、年明けの1月に東京大学農学部教授の上野博士の住む
渋谷こまばの家に贈られました。ハチは博士が仕事に行く際には駒場にある
東京大学や、電車を利用する際には渋谷駅まで見送ることが日課でし
た。しかし、1925年に博士は勤務先の大学で突然亡なくなってしま
います。住んでいた借家から出ることとなった博士の妻はハチを親戚しんせき
などに預けますが、ハチはなじめず、世田谷で再度博士の妻と暮らし始
めました。ハチは逃げ出すことが多く、博士の妻は心配していました。
ある時、「ハチを渋谷で見かけた」という報告が届きました。何度連れ
帰っても世田谷から渋谷駅に行ってしまうハチ。「博士がなかなか帰っ
てこない日は渋谷駅から帰ってくる」ということをハチは覚えていた
のかもしれませんが。博士の妻はハチの思いを汲み取り、渋谷に住んで



いる知り合いの植木職人うえきしょくにんにハチを預けるあずことにしました。それからもハチは毎日渋谷駅に出向き、博士を待ちました。ハチのその健気けなげな様子は新聞でも報道され、「大好きな人に会いたい」という純粋じゆんすいな想いと忍耐力にんたいりよくは多くの人に共感きょうかんと感動かんどうを呼び、渋谷駅には1934年に銅像が建てられました。翌年3月にハチは亡くなるまで毎日渋谷駅に通いました。ハチ公の銅像は戦争に使用するために1944年に金属回収令きんぞくかいしゅうれいにより材料として溶かされてしまいました。1948年に2代目ハチ公像が建てられ、今でも待ち合わせの場所として愛されています。他にも、たくさんの動物が日本を沸わかせました。多摩川たまごに迷い込み、その愛くるしさから熱狂ねつきょうてき的なファンを生んだアザラシの「たまちゃん」、あしげ「芦毛の怪物かいぶつ」として競馬ファンに語り継つがれるオグリキャップ、日本中にパンダ旋風せんふうを起こしたジャイアントパンダのランランとカンカン、2本足で立つ姿が愛らしく癒いやしを届けてくれたレッサーパンダふうたの風太くんなど、さまざまな動物が私たちが癒いやしたり、勇気ゆうきづけたりしてくれました。保護者の方にも、どんな動物が話題になったか好きだったかを聞いてみると、面白い話が聞けるかもしれません。

2 犬や猫、そして人にもキケン！

見えない敵「寄生虫・食中毒・熱中症」

犬や猫は、私たちと一緒に暮らす大切な家族です。でも、一緒にいる中で、気を付けなければならない「見えないキケン」があります。

●寄生虫きせいちゅうってなに？

寄生虫とは、動物の体の中や外に住みついて、栄養うばを奪って生きる

小さな虫です。とても小さく、目では見えない種類もあります。知らないうちに体に入りこみ、元気をうばったり、うんちにまじって出てきたりします。

●よくいる寄生虫

ノミ	犬や猫の毛の中にかくれて血を吸います。とてもかゆくなり、かきすぎて皮ふをこわすこともあります。
マダニ	草むらや山にいて、血を吸うためにくっつきます。有害な細菌やウイルスをうつすこともあります。
<small>かいちゆう</small> 回虫	おなかの中に住みつく虫で、子犬や子猫がよくかかります。

●マダニからうつるこわい病気「SFTS」

マダニがうつす病気の中で、特に怖いのが SFTS（重症熱性血小板減少症候群）です。犬や猫がかかると、元気がなくなったり、ごはんを食べなくなったり、下痢やおう吐をしたりします。そしてこの病気は、人間にもかかります。マダニは山や草むらにいて、人にもつきます。人がかかると、高い熱が出たり、入院が必要になることもあるとてもキケンな感染症です。



●食べ物にもキケンが！

古くなったごはんや、生の肉・魚を食べると、犬や猫も食中毒になります。人間も同じです。

サルモネラ	生の肉や卵などにおいて、おなかをこわします。
カンピロバクター	とり肉などに多く、下痢 <small>げり</small> や発熱などの原因になります。
アニサキス	魚の中にいる寄生虫で、おなかの痛みを起こします。

これらの菌や虫は、犬や猫にもうつり、そこから人間にうつることもあります。

●暑さでも命があぶない！？ ～熱中症ねっちゅうしょう～

夏になると、犬や猫も熱中症になります。

犬は汗をかくことではなく呼吸で体温を調整します。暑い部屋や車の中、日かげのない場所に長時間いると、体温を下げることができず、ひどいと死んでしまうこともあります。

真夏は、昼間の散歩さを避ける、エアコンを使う、水をたっぷり用意するなど、工夫が必要です。

猫は暑いだけならまだ大丈夫ですが、湿度が高いのが苦手で、最近の夏はエアコンが必要です。人間も動物も、暑さから命を守ることが大切です。

●どうすれば守れる？

犬や猫、そして自分たちを守るために、次のようなことを心がけましょう。

- ・犬猫のベッドなどをきれいに保つ
- ・外から帰ったら犬や猫の体をチェックする
- ・食べ残しや古いフードはすぐに捨すてる

- ・生の肉や魚はあげない
- ・おしっこやうんちはすぐ片付ける
- ・暑い日はクーラーを使う、水をしっかりあげる
- ・なでたり触^{さわ}ったりしたあとは手をしっかり洗う

うさぎ・ハムスター・インコにとってのキケン

犬や猫だけでなく、小さな動物たち、たとえば「うさぎ」「ハムスター」「インコ」などにも、気を付けるべきキケンがあります。これらの動物たちは体が小さいので、ちょっとしたことでも命にかかわることがあります。

・うさぎにとってのキケン

暑さ	うさぎは暑 ^{あつ} さにとても弱い動物です。夏はエアコンで室温を適切に保ちましょう。
足をケガしやすい	高いところから落ちると足の骨を折ってしまうことがあります。
こいん 誤飲	電気コードなどをかじってしまうと感電や中毒のキケンがあります。

・ハムスターにとってのキケン

温度変化	暑さにも寒さにも弱く、気温が急に変わると冬眠のような状態になり、命にかかわることもあります。
ストレス	大きな音やしつこいふれあいはストレスになり、体調をくずすことがあります。
食べもの	人間の食べ物をあげると中毒をおこすことがあるので、専用のフードをあげましょう。

・インコにとってのキケン

かぜ	冷たい風が当たると、すぐに体調をくずしてしまいます。
窓ガラスにぶつかる	お部屋で飛ばしてあげるときは、カーテンをしめるか、ガラスに目印をつけましょう。

・小さな命を守るために

うさぎ、ハムスター、インコはとてもかわいくて、私たちにやさしい気持ちをくれます。でも、体が小さい分、守ってあげることもたくさんあります。

- ・ 温度や音、においに気をつけて
- ・ かじったり、食べたりしそうな物を手の届かないところに
- ・ さわるときはやさしく、短い時間で
- ・ 病気のサイン（食べない、動かない、ふるえるなど）を見逃さない

小さな命も、私たちの大切なパートナーです。正しい知識とやさしい心で、一緒に暮らす毎日を大切にしましょう。

・最後に

犬や猫、もっと小さな動物たちと一緒に暮らすのは、とても楽しいことです。しかし、元気に過^すごしてもらうためには、人間が正しい知識をもって、「見えないキケン」から守ることが大切です。

「かわいいね」だけでなく、「守ってあげたい」という気持ちがあれば、寄生虫や食中毒、熱中症もこわくありません。犬や猫、そして家族みんなが元気に過ごせるように、できることから始めていきましょう！



3 飼い主の責任

晴れて生き物の飼い主になったなら、飼い主として、命あるものである動物を愛情や思いやりをもって、大切に守り育てなければならないという責任が生じます。

「動物の愛護及び管理に関する法律」では、動物の愛護と適正な飼養のために、飼い主が守るべき基本的な事項として、飼い主に守ってほしい5か条が定められています。

①動物の習性等を正しく理解し、最期まで責任をもって飼うこと

しゅうせいしやう
(終生飼養)

動物はその種類により、必要な飼育スペースや快適な温度、運動量など、適切な飼育環境しよくかんきやうがあります。習性しゆせうせいもさまざまで、昼行性ちゆうかうせいや夜行性やかうせい、群れを形成する種類もいれば単独行動する種もいます。また、年齢ねんれいによっても必要な食量や運動量などが変化します。動物の種類や習性、年齢などに合った飼育環境を整えることにより、動物の健康や安全を保つように努めましょう。

また、飼い主はできる限り動物がその命を終えるまで、ストレスなく快適に過ごせるように、最期まで責任をもって、飼育しなければなりません。

②人への危害きがいや迷惑めいわくの発生を防止すること

飼っている動物が、他の人に危害を加えたり、迷惑をかけたりしないように注意しましょう。

例えば、公園や街に飼い犬を連れて行く際には、しつけをし、必要な場合には訓練をして、動物が苦手な人や他の飼い主の迷惑にならよ

うにしましょう。また、トイレをしてはいけない場所です。また、トイレトレーニングを行うことも必要です。

散歩や外出の時には、必ずリードをつけて、ほかの人が怖い思いをしないように注意しましょう。また、外でおしっこをした場合に水で洗い流せるよう準備したり、うんちをした時に備え、ビニール袋などを携帯しましょう。他に、きょうけんびょうよ ぼうせっしゅ狂犬病予防接種を行った証明となるきょうけんびょうよ ぼうせっしゅ ちゅうしゃずみひょう狂犬病予防接種の注射済票、ティッシュ、飲み水用の皿なども携帯するとよいでしょう。

近隣に住む方たちにも配慮が必要です。鳴き声や臭い、排泄物の処理など、周囲の方々に迷惑がかからないように注意しましょう。動物が苦手な人にも迷惑にならないような心配りが、飼い主には求められます。

③ はんしよくむやみに繁殖させないこと

飼っている動物が新たな生命う はぐくを生み育てるという行為は、大変、感動的な出来事となるでしょう。しかし、予想外の繁殖が起きてしまうと、か みつじょうたい過密状態で飼育しなければならなくなったり、お世話が大変になったり、必要な費用がかさんでしまったりするなど、飼いきれなくなってしまう危険性があります。繁殖させるには予め十分な準備と計画が必要となります。大変な心構えが必要です。こころがま こんなん困難であると判断したならば、繁殖を制限する対処を行うなど、生まれてくる命に責任をもつことが必要です。

④ かんせんしやう動物による感染症の知識をもつこと

動物の感染症の中には、動物から人に感染する「人と動物の共通感染症」があります。例えば、に ほんこうはんねつ狂犬病や日本紅斑熱、トキソプラズマ、

オウム病、レプトスピラ症、^{ひ ふ しじょうきんしゅう}皮膚糸状菌症などです。人と動物の共通感染症について正しい知識をもち、その予防に必要な注意を払いましょう。

⑤所有者を明らかにすること

^{とうなん まいご}盗難や迷子を防ぐために、自分の飼っている動物であることを証明できるように、マイクロチップや首輪、名札、^{きゃくかん}脚環などの標識を身につけるようにしましょう。



今回は、飼い主の責任として行うべき具体的な事柄について解説しました。動物の種類やその性格、飼育環境によっても、一つとして同じようにはいきませんが、飼い主の責任のもと、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して、適正な飼育に全力で臨む必要があります。それにより生き物と素晴らしい時を過ごせることでしょう。

4 ^{お がさ わら}小笠原ネコプロジェクト

～人とペットと野生動物が共に暮らせる島をめざして～

●小笠原ってどんなところ？

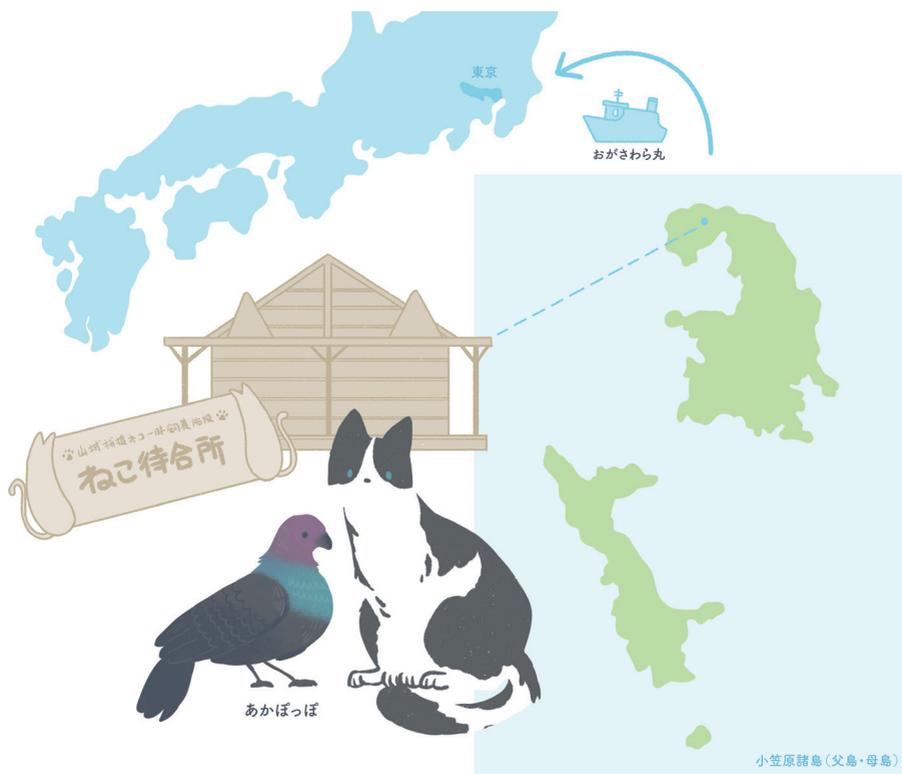
小笠原諸島は東京都の一部で、都心から南に約1000kmのところにあり、主な島だけでも30ぐらいの島々があります。沖繩おきなわとほぼ同じ緯度いどなので、一年中暖かい気候あたたです。人が住んでいるのは父島ちちしまと母島ははしまのみ。本土からの交通手段は週に一度の「おがさわら丸」という船のみで、片道24時間かかります。小笠原の生き物は独自の環境で進化し、世界でもここでしか見られない生き物が多く存在します。そして、2011年にはユネスコせ かい し ぜん い さんの世界自然遺産にも登録されました。

●プロジェクトのきっかけ

海洋島かいやうとうである小笠原諸島には、自力じりきで飛んできたり、鳥にくっついて運ばれたり、風に流されたり、流木りゅうぼくに乗って流れ着いたりした生き物だけが暮らし、もともと肉食哺乳類にくしょくほにゅうるいはいませんでした。外敵がいてきのいない環境で進化した動物たちは警戒心けいかいしんが薄く、木の上だけでなく地上で長く行動するなどの特徴があります。こういった動物たちは人間によって持ち込まれたネコに対する防衛手段ぼうえいしゆだんをもっていませんでした。

ネコは、翼つばさを広げると1.5mにもなるカツオドリという自分よりも大きい海鳥うみどりでも捕まえてしまうほど、優秀なハンターです。そのため、ネコが野外はなに放されるとこの島最強ほしよくしやの捕食者になってしまいます。「あかぼっぼ」と呼ばれるこの島にしか生息していない「アカガシラカラスバト」は一時生息数ぜつめつすんせんが40羽ほどになり絶滅寸前まで追い込まれてしまいました。

これをきっかけに野生化したネコたちの捕獲^{ほかく}が始まりました。しかし、問題は捕獲したネコの行き先です。捕獲されたネコに新たに飼い主を見つけようとしても、小さな島の中では受け入れられる数は限られていますし、そもそも野生化したネコが人に懐^{なつ}くとはとても考えられませんでした。島の中で行き場のないネコ、逃げ場のない野鳥。どうにもならない事態に島の人達の意見も分かれ、簡単にはまとまりませんでした。そんな中、東京都獣医師会^{じゅういしかい}が受け入れに手をあげました。



●野生動物もネコも救おう

今まで、こうした行き場のないネコたちは殺処分されるしかないと考えられていました。しかし、野生化したネコも動物病院で訓練を受けると、本来のペットとして人と暮らせるようになることがわかりました。

「野鳥は小笠原でしか生きることができないけど、ネコは都会でも幸せになれる。どちらの命も救おう！」という言葉が、皆の気持ちを揺り動かしてプロジェクトが始まります。現在までに1152頭（2025年10月現在）のネコが小笠原から船で本土へ到着し、そして新たな家族のもとで幸せな生活を送っています。

●野生動物復活のきざし

2005年頃、生息数が40羽ほどと絶滅寸前だったアカガシラカラスバトは、この活動によりその生息数が現在では約10倍までに増えたとされており、^{ひとざと}人里でも見かけられるようになりました。また、地上におりて卵を産み・ヒナを育てる海鳥の繁殖地では、カツオドリ^みの巣作り・巣立ちも観られました。一方で、アカガシラカラスバトの生息数が少しずつ増えてきたため、車や窓ガラスへの衝突などの事故が起こるようになり、人が原因となる事故を減らす注意や工夫も行っていきます。

●未来へ向けて

たくさんのネコたちを捕まえるだけではなく、これ以上、このようなネコを新たに生み出さないために、小笠原村の条例により、飼いネコの登録、マイクロチップの装着、不妊去勢手術、室内飼養が義務付けられ、この島でのネコとの暮らし方が浸透してきました。さらに、この条例はネコだけでなくペット全般に対象を広げ、全てのペットの適正飼養を進めています。もしもペットを誤って逃がしてしまったら、島の生態系に大きな被害をもたらしてしまう可能性があります。動物が悪いわけではありません。悪いのは連れてきて放してしまった人間です。小笠原ネコプロジェクトを通じて、人の生活の環境への影響や人とペットと野生動物はどのように暮らしていけば良いのかを考えてみましょう。

おわりに

今回の「動物通信」が、改めて動物との関わり方を見直すきっかけとなることで、人と動物の共生する社会の実現の一助となれたなら幸いです。飼育する動物が健康で苦痛なく過ごし、飼う方や周囲の方も楽しく平和に過ごせることを切に願っています。

あとがき

この動物通信は、毎年、杉並区獣医師会の獣医師が書いているもので、動物に関する様々な題材を取り上げています。過去に発行された動物通信は、杉並区獣医師会ホームページでご覧になれます。

区民の方々の、動物の飼育の手助けになれば幸いです。

編集

公益社団法人 東京都獣医師会杉並支部

ホームページ

(URL) <https://www.s-vet.com>

(イラスト協力)

女子美術大学芸術学部

アート・デザイン表現学科

ヒーリング表現領域 田口 絢雅

(協力)

小笠原ネコに関する連絡調整部会

この冊子のご感想を
ぜひお聞かせ
ください。



獣医師会会員 動物病院案内 (町名順)

阿佐谷ペットクリニック	阿佐谷北 4-1-2	3330-3020
ちやふるペットクリニック	天沼 3-23-34	6240-6377
いぐさ動物病院	井草 1-31-16	3397-7115
ひがしやま動物病院	和泉 2-33-22	3322-8338
さくら動物病院	今川 4-20-11	3301-7800
ハナ動物病院	梅里 2-28-4	5913-8241
バル動物病院	永福 3-51-13	5376-5344
永福あにまるクリニック	永福 4-22-6-1B	5329-1255
天野動物病院	大宮 1-2-3	3325-6798
米川動物病院	荻窪 3-12-5	3398-1141
グレース動物病院	荻窪 5-4-9	3220-2717
K's どうぶつ病院	上井草 3-1-19	3395-1947
荻窪ツイン動物病院	上荻 1-23-18	3220-1122
もりぞう動物病院	上荻 2-21-25	6915-0035
エルムス動物医療センター	上高井戸 1-14-4	3304-4090
久我山動物病院	久我山 5-33-20	3331-0960
オハナ動物病院	高円寺北 3-23-6 1F	5364-0203
アイルペットクリニック	高円寺南 1-24-11-101	5929-7817
広瀬獣医科病院	下井草 2-4-10	3394-0116
小金井動物病院	下井草 3-32-10	3390-8794
東京動物医療センター	松庵 2-19-15	3331-3381
ミ・サ・キ・動物病院	高井戸東 2-25-8	5370-1013
浜田山かしわら動物病院	高井戸東 3-1-25	3290-1239
しん・どうぶつびょういん	高井戸東 4-9-1	5336-3721
成田犬猫病院	成田東 3-2-3	3315-5300
小張獣医科病院	西荻北 2-13-3	3390-6025
ブルーミントン動物病院	西荻南 2-22-11	5941-9711
マズナガ動物病院	浜田山 4-11-12	5378-1014
塩田動物病院	南荻窪 1-21-2 都コーポ	3332-2310
なかむらペットクリニック	南荻窪 4-22-6-1F	5370-6070
みやまえ動物病院	宮前 3-9-1	5344-1677
D&C Physical Therapy	和田 3-60-10	3311-8888
安達動物病院	和田 3-60-11	3311-5678

動物通信 動物と生きるということ

令和7年度版

令和8年2月発行

発行・監修

杉並区杉並保健所生活衛生課

〒167-0051 杉並区荻窪5-20-1 電話 03(3391)1991

☆杉並区のホームページでもご覧になれます

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>

登録印刷物番号

07-0099



R40

古紙配合率40%再生紙